

令和5年6月14日（水曜日）

経済観光委員会

第4委員会室

出席委員

山口 悟、白井義一、前川藤枝、駒田かすみ、
井川一善、井上太良、下林崇史、嶋谷秀樹、
西村しのぶ

開会

9時56分

観光スポーツ局

9時56分

議案説明

- ・議案第62号 姫路市体育施設条例の一部を改正する条例について
- ・議案第67号 契約の締結について（姫路市立姫路球場ナイター照明設備新設及びスコアボード改修等工事請負契約の締結）

報告事項説明

- ・姫路城世界遺産登録30周年記念事業について
- ・兵庫デスティネーションキャンペーン誘客事業について
- ・姫路ゆかたまつりの開催について
- ・「ル・ポン国際音楽祭2023 赤穂・姫路」について
- ・アクリエひめじ オープニングシリーズなどについて
- ・「世界遺産姫路城マラソン」（2023事業報告・2024事業計画）について
- ・手柄山中央公園再整備事業の進捗について
- ・イベント等について（7～9月）
- ・「新・BS日本のうた」（公開収録）の観覧者募集について

質疑・質問

10時36分

（質問）

令和6年度に指定管理者制度を導入するスケートボードパークはなぜ非公募なのか。

（答弁）

現在スケートボードパークは、総合スポーツ会館等の体育施設の指定管理を行っているまちづくり振興機構に管理を委託しており、それを指定管理者制度に切り替えるものである。

（質問）

姫路球場のナイター設備等の工事について、約12億円もの費用を投じるとのことで、市民の期待も大きいと思われるが、今後どのように活用していこうと考えているのか。

（答弁）

工事完了後は、プロ野球だけでなく大規模な社会人野球の大会も開催可能となることから、様々な大会の開催に向けて誘致活動に取り組みたいと考えている。

（要望）

工事の完了を待つのではなく、早期に誘致活動を行うことで、市民の期待に応えられるようしっかりと取り組まれない。

（質問）

ゆかたまつりは、コロナ禍において開催が中止となっていたが、今年の露店の公募出店数は124件とのことである。ある程度の規制を行っているのか。

以前であれば、全国から数多くの露店が集まっていたと思うがどうか。

（答弁）

最も多いときは、800件程度の露店が出店していたが、平成25年に露店を統括していた兵庫県神農商業協同組合が解散したことで、露店を統括する組織がなくなった。

その後、新たな仕組みを警察・地元で協議し、平成26年から市・警察・城南地区連合自治会で露店運営協議会を立ち上げて、そこで公募抽選を行い、出店してもらっているが、同協議会では800件もの出店管理はできないため、対応可能な出店件数で調整している。

（要望）

コロナ禍が明けて4年ぶりの開催となり、大変多くの人出が予想される。

安全対策にはしっかりと配慮されたい。

（質問）

世界遺産姫路城マラソンの経済効果が2019年大会の約11億7,000万円から約7億2,000万円に大きく減少しているが、主な要因は何なのか。

（答弁）

沿道応援の自粛を要請した関係で、来場者数の推計

値が2019大会の約15万人から5万人に減少しており、その部分の消費金額の減少が大きいと考えている。

(質問)

次回大会の沿道応援は、どのような対応を考えているのか。

(答弁)

基本的には規制のない形を考えている。

(質問)

2024大会の開催日となる令和6年2月11日は、大阪マラソンの日程と重なっていないのか。

(答弁)

大阪マラソンは2月25日開催が通常であり、2週間ずれている。

(質問)

マラソン人気にも陰りが見えていると感じるが、姫路城世界遺産登録30周年記念事業として大会を盛り上げるために、募集定員の増加や特別な催しの開催などは検討していないのか。

(答弁)

募集定員は今までの9,000人と同様であるが、ゲストランナー等に有名な人を招待したいと考えている。

加えて、コロナ禍の規制はなくなるため、飲食等で人気のある大手前公園で開催するマラソン祭りにおいて集客を図っていきたい。

(要望)

姫路城世界遺産登録30周年をよい契機として盛り上げてもらいたい。

(質問)

手柄山中央公園再整備事業において、物価変動による約8%の事業費増を見込んでいるとのことであるが、どの部分の費用が対象となるのか。

(答弁)

全体事業費約333億円から、設計・工事管理・備品等の経費を除いた約224億円が対象となる。

(質問)

どの程度の事業費増となるのか。

(答弁)

対象経費をおおむね平均した8%の事業費増を見込んでおり、現時点での正確な金額は把握しかねるが、

224億円に8%を乗じると約18億円である。

(質問)

令和3年の契約時点でここまでの高騰は想定していたのか。

(答弁)

令和3年12月21日に契約したものであるが、令和2年から一時期に物価が少し下がっている時期もあったので、ここまで急激な物価上昇は想定していなかった。

(質問)

事業費の増加分も含めて国の補助対象となるのか。

(答弁)

建設費に国庫補助金を充当しており、物価高騰部分も対象となる。

対象経費の2分の1が補助額となるので、しっかりと要望し配当してもらえるよう努めていきたい。

(要望)

今後も物価高騰は続くと考えられるが、よいものを造ってもらいたいので、しっかりと予算管理に努められたい。

(質問)

白浜の相撲場の所管はどこなのか。

(答弁)

教育委員会の所管となっており、目的外使用として一般に貸し出すものである。

(質問)

安全対策はしっかりとされているのか。

(答弁)

教育委員会においてしっかりと行っている。

(質問)

どのような対策がなされているのか。

(答弁)

土俵の段差解消のためのマット設置や支柱にクッション材を貼る等の安全対策を行っている。

(要望)

広く市民が使用できるようしっかりと管理してもらいたい。

(質問)

姫路市体育施設条例の一部を改正する条例につい

て、このスケートボードパークはどの程度の利用者を見込んでいるのか。

また、目立ちたいためか、街中でスケートボードをしている若者に対する啓発については、どのように考えているのか。

(答弁)

スケートボードパークを利用するには、まず利用者登録が必要となっており、登録者は10代から50代以上まで幅広く、日常的に利用されている。

また、街中でスケートボードをしている若者については、どこまで誘導できるか分からないが道路部局と協力しながら考えていきたい。

(質問)

姫路出身のアスリートを輩出するという意気込みを持ってもらいたいが、子どもたちがアスリートを目指していけるような環境を整えていくことについて、どのように考えているのか。

(答弁)

安全面のチェックやコロナ禍以前に年1、2回講習会を開催してもらっていたスケートボード協会は、そのような人材を育てていきたいという意気込みを持っているので、本市も協力しながら何かよいものがないか考えていきたい。

(質問)

手柄山中央公園再整備事業について、事業者はPFI事業の募集時から経費を積算していると思うが、物価変動による事業費の改定は、契約時が基準となっているため、事業者には相当の負担となっていると思うがどうか。

(答弁)

国土交通省の通知やPFI事業を所管する内閣府の基準も契約締結時の物価を基準とするということであり、補助事業として実施している関係もあり、適った対応は困難である。

令和3年4月に公告し、提案書の提出は8月でこの時には既に物価が上がり始めており、10月に落札者を決定し、12月に契約したものであるが、ここまでの高騰は想定していなかった。

事業者とは協議を重ねており、対応したいという思

いはあるものの、現在の制度では対応できないところである。ご理解願いたい。

(質問)

姫路球場の芝生は、阪神甲子園球場のグラウンド整備を担う園芸事業者の指導を受け、地方球場では有数の状態を誇っていたが、近年はその状態が悪くなっている。

ナイター利用が始まると芝生を休ませる時間がなくなるため、さらに状態が悪化するのを危惧するが、どのように考えているのか、

(答弁)

芝の状態が悪いことは認識している。

当該園芸事業者の指導を受け、技術は吸収しているが、芝生に対する思い入れが人によって異なるため、対応が少し異なるだけで育ちは悪くなる。

姫路球場の指定管理者である一般財団法人まちづくり振興機構とともに当該園芸事業者にも相談しながら対応策を検討していきたい。

(質問)

アクリエひめじの施設使用の時間帯について、例えば午後1時から午後5時までの時間帯で、午後1時からシンポジウムを実施しようとする場合、事前準備を考えると2つの時間帯を借りる必要があるが、何かよい方法はないのか。

(答弁)

使用時間帯の各区分の前後に1時間の空き時間を設けているが、指定管理者にも状況確認し、できることがあれば対応したい。

(質問)

何度も言われているが、アクリエひめじの駐車場の出庫には、非常に時間がかかる。

警察協議において、周辺交通に影響が出ないように配慮しているのかと思うが、せっかくよいコンサートを鑑賞しても、これだけ出庫に時間がかかれば、満足度が低下してしまう。何らかの対策は講じられないのか。

(答弁)

長年の課題であり、警察協議も必要であるが、令和5度は事前精算機を1台追加することで、出庫時間の

短縮を図っていきたいと考えている。

(質問)

平成中村座姫路城公演やさくらサーカス姫路公演は非常に好評で、本市の観光行政もよいノウハウを得たと考えている。

毎年は難しいと思うが、定期的に開催しようという意気込みはあるのか。

(答弁)

市外からの来場者も多く、宿泊にもつながっている。定期的な開催ができるように考えていきたい。

(質問)

平成中村座の関係者と話す中で、「仕事柄喉のケアが大切であるが、ホテルの温度調整の幅が十分ではなかった。」との声があった。

今後アクリエひめじでのオーケストラ公演のように国内外から著名なアーティストを招聘した際にも十分満足してもらえるような市内宿泊環境を整えてもらいたいだろうか。

(答弁)

姫路観光コンベンションビューローでは様々な支援を行っており、観光庁の宿泊施設向けの支援制度なども活用しながら、本市で快適に過ごしてもらえるよう取り組んでまいりたい。

(質問)

姫路駅前の飲食店の客引きについては、数か月前に逮捕者が出たとの報道や観光客の被害も出ており、非常に悪い状態である。

冬場のイルミネーション事業の説明もあったが、このような客引きを放置したままでは、姫路の夜の街を歩くことができなくなるのではないのか。

(答弁)

以前から指摘されており、これまでも危機管理室等と連携しながら対応を進めてきたが、行政だけでは対応できない部分もある。警察の協力も得ながら改善に努めていきたい。

(要望)

非常に大切なことである。

条例を策定して制限を設けている市町もあるので、しっかりと取り組まれない。

(質問)

手柄山温室植物園で開催される牧野富太郎展について、どのような内容なのか。

また、開催時期が9月とのことだが、同氏が大塩・的形地域で発見したノジギクの開花時期に合わせて開催してもよかったのではないかと思うがどうか。

(答弁)

ノジギクはじめそれ以外の様々な植物の写真パネル等 100 点を展示する予定である。

開催時期については、高知県立牧野植物園や日本植物園協会からパネルやスケッチ等も借用する関係で9月となっている。

(意見)

観光に力を入れていくのならば、飲食店の客引きに加えて、無言でドアを閉めるようなタクシー運転手もいるので、タクシー会社をランクづけるなどして、差をつけていかなければならないと感じている。

(質問)

世界遺産姫路城マラソンの2週間後が大阪マラソンであるが、ランナーは体調を考えると1か月間程度間隔を空けて次の大会に出場するのではないのか。

そのあたりにも配慮した参加しやすい大会にできたらと思うがどうか。

(答弁)

マラソンの日程は、まず大会を成立させるために陸連との調整が必要となり、地域バランスの考慮はその後になる。

世界遺産姫路城マラソンは、ランナーのポータルサイト、ランネットでの評価が非常に高く全国でもトップテンに入っており、世界遺産からスタートして、世界遺産にゴールするという本市ならではの魅力をしっかりアピールし、参加者に満足してもらえる大会にしていきたいと考えている。

(要望)

私もスポーツクラブ 21 で参加しており、楽しみにしている大会である。

しっかりと取り組まれない。

(質問)

スケートボードパークについて、あの場所は、スケ

ートボードだけでなく、インラインスケートやBMX等も利用できたはずである。

私もBMXを持っているので利用登録を行ったが、スケートボードの利用が常時あり、接触時の危険性を考えると利用をちゅうちょしてしまい、まだ利用ができていない。

スケートボード、BMX、インラインスケート等の機材に応じた利用時間区分は検討できないのか。

(答弁)

現在、無料で自由に利用できる状態であり、管理者は配置していない。

利用時間でしっかりと区分するには、管理者を配置する必要があるため検討が必要である。

(要望)

曜日ごとに使用機材を区分し、パークの入り口に掲示することでも対応ができるのではないのか。

どのような利用者でも、遠慮せずに使用できることは大切なので、機材別にどのような利用がされているのかを調査し検討してもらいたい。

(質問)

アクリエひめじの使用時間帯の区分について、13時からの催しのため、前日準備とリハーサルを兼ねて2日間連続で借りた際に、1時間単位で延長ができると説明を聞いていたが、当日に延長をしようとしたらできないとのことであった。

きちんとした指導をしてもらいたいがどうか。

(答弁)

指定管理者に状況確認し、しっかりと対応していきたい。

(要望)

アクリエひめじの駐車場の出庫には、いまだにかなりの待ち時間が発生しているので、しっかりと検討してもらいたい。

(質問)

新・BS日本のうたの観覧申込の応募方法がいまだに郵便はがきに限定されているのはなぜなのか。

(答弁)

主催者であるNHK神戸放送局において、高齢者等に配慮して郵便はがきでの応募としている。

しかしながら、開催地が東京や大阪のものは、インターネット応募のみとなっており、今後はインターネットが増えていくものと考えている。

(質問)

手柄山線の整備について、東エントランスゾーンの歩道幅を拡幅することであるが、その付近に咲いている手柄ザクラに影響はないのか。

(答弁)

車道側へ拡幅するため、手柄ザクラには影響しない。

(要望)

歩道に手柄ザクラの存在を示すような表示物があれば、分かりやすいと思うので検討してもらいたい。

(質問)

お城EXPOと同時開催される刀剣乱舞宴奏会について、姫路城世界遺産登録30周年記念として何か特別な演出がなされるのか。

(答弁)

姫路らしい曲目があると聞いているが、世界遺産登録30周年記念として姫路らしさを盛り込んでもらえるよう要望したい。

(質問)

刀剣乱舞を目当てに来た人が姫路城を訪れるなど、姫路城をプラスワンにしてもよいと思うがどうか。

(答弁)

お城EXPOとの同時開催であり、回遊性を高められるようPRしていきたい。

(要望)

へし切長谷部のパネルを置くだけでも特別感が感じられるので、検討してもらいたい。

(質問)

ル・ポン国際音楽祭について、今年は姫路城世界遺産登録30周年の年であるが、本市ではアクリエひめじ大ホール2回だけの開催である。

赤穂市と本市の開催回数はどうのように決めているのか。

(答弁)

赤穂市と隔年で当番市を決めて開催している。

本年は赤穂市が当番市であるので、全6公演中、赤穂市で4公演、本市で2公演となっている。

来年度は、本市で4公演となり、姫路城や書写山圓教寺も会場となる。

なお、会場がパルナソスホールからアクリエひめじとなることで、より多くの人が観覧できるようになっている。

観光スポーツ局終了 11時44分

【予算決算委員会経済観光分科会（観光スポーツ局）の審査】

休憩 12時28分

再開 13時25分

産業局 13時25分

報告事項説明

- ・農水産物のブランド化推進事業について
- ・中心市街地活性化基本計画の進捗状況について
- ・緊急経済対策（産業局所管事業）について
- ・産業局所管イベントについて
- ・「(仮称)道の駅姫路」整備事業の進捗状況について

質問 14時04分

(質問)

プレミアム付き商品券事業について、1セット1万円となっているが、5,000円程度のものは検討しないのか。

(答弁)

これまでのプレミアム付き商品券も1セット1万円が発行しており、市民に浸透していると思うので、この形で進めていきたいと考えている。

(質問)

応募方法がアプリやウェブとなっているが、高齢者等の応募ができない人が出てくるのではないのか。

(答弁)

前回実施時は、対象店舗において応募のサポートを行っていた事例がある。

多くの人に利用してもらえるようしっかりと準備していきたい。

(質問)

デジタル商品券の利用に当たって、店舗のレジシ

テムの改修等で負担が生じることはないのか。

(答弁)

デジタル商品券については、店舗にQRコードを設置し、スマートフォンで読み込んでもらう対応となり負担は生じていないと考えている。

なお、過去のプレミアム付き商品券事業においては、年末年始等の繁忙期は使用を制限していた店舗もあったので、店舗の事情も考慮しながら協力を求めている。

(質問)

中心市街地通行量調査について、令和4年と令和5年の比較がされているが、コロナ禍前と比較したほうがよいのではないのか。

(答弁)

令和5年4月の主要10地点の合計が9万2,634人、コロナ禍前の令和元年は11万3,359人である。

令和2年から令和4年は、その半分程度であったので、数字は戻りつつある状況である。

(質問)

スマート農林水産業チャレンジ事業について、ドローンの免許取得費用は補助対象となるのか。

(答弁)

ドローン等のスマート機械の導入を促進する事業のため、免許取得費用については今後検討していきたい。

(質問)

機材があっても扱える人がいなければ、意味がないので、今後の補助メニューとして検討してもらいたいがどうか。

(答弁)

兵庫県が令和4年度に農業振興センターでドローンの実演会を開催しているが、そのような機会を捉えて需要を把握しながら検討していきたい。

(質問)

令和4年度のプレミアム付き商品券事業では、オンライン決済ができず、店舗に行く必要があったが、このたびはどうか。

(答弁)

今後実施するプロポーザルの結果によるが、多様

な決済手段の提案を求める予定である。

(質問)

ほとんどの手続きがウェブでできるのに、最後の決済だけは店舗に行かなければならなかったのが、しっかりと対応してもらいたいがどうか。

(答弁)

事業者の提案内容や経費の問題があるが、できるだけ配慮できればと考えている。

(質問)

ウェブで申込みを受けているのに、通知はがきを発送するのはなぜなのか。

(答弁)

まず1点目として、市内住所の居住確認のために、はがきを発送している。

2点目としては、紙タイプの商品券の場合、店舗で引換えできるものが必要となるため、引換証としてのはがきを送付している。

(質問)

各店舗で利用された商品券を換金するのにどの程度の時間を要するのか。

(答弁)

令和4年度は、デジタルタイプの場合で月2回、集計が必要な紙タイプの場合で月1回の換金を行っていた。

(質問)

商店街のポイントシール事業について、以前に当該事業が実施された際は、500円の買い物ごとにポイントシールが1枚発行され、10枚貼ることで金券として使用できるものであったが、そのシールが不足してもらえなかった等の意見を聞いていた。

どのような対応を考えているのか。

(答弁)

姫路市商店街連合会の事業であるが、市でもそのような声を聞いている。

4回目となる事業であり、トラブルが発生しないよう、もらった意見は、姫路市商店街連合会にしっかりと伝えたい。

(質問)

道の駅の整備予定地の隣にあるコンビニエンス

ストアは、県道65号線を利用して自転車で加古川に向かう人たちの集合場所としてよく利用されているが、道の駅との接続は考えているのか。

(答弁)

セキュリティのため、道の駅の敷地境界には囲いを設置したいと考えているが、コンビニエンスストアとの連携についても今後検討していきたい。

(質問)

コンビニエンスストアの業務を圧迫する可能性はないのか。

(答弁)

道の駅には、売店や食堂を設置する予定であるが、取り扱うものは、地元食材が中心となる予定であり、コンビニエンスストアで取り扱っている商品とは差別化が図られると考えている。

(質問)

交通量調査において、自転車の乗り入れが禁止されている二階町や西二階町等の商店街では、歩行者と自転車を区別しているのか。

(答弁)

区別していない。

商店街内では基本的に自転車の乗車が禁止されているので、次回調査時には配慮したい。

(質問)

姫路市ITスタートアップ事業所開設支援事業は、6月1日から申請受付を開始し、現在はまだ申請者がいないということか。

(答弁)

そのとおりである。

(質問)

福岡市は、億単位のスタートアップ支援事業を立ち上げて、上場企業を多数輩出しているが、そのような大規模な取組はどうか。

(答弁)

そのような取組は行っていないので、今後の課題である。

本市は製造業が多く、どこまで利用されるのかという部分はあるが、初期投資額が比較的少ないIT関係の事業において、様子を見ながら取り組んでいきたい。

(要望)

他都市からの学びはとても大切であり、地場産業だけに頼ってはいは、姫路市はそれだけになってしまう。

新しい産業が生まれることで、人口が増え、税収も増えていくと思うので、しっかりと考えてもらいたい。

(質問)

本市は豊富な農水産物に恵まれているものの、様々なものがあるがゆえに姫路産とは十分に認識されなまま消費されているところがある。

姫路産としてのブランド力を高めていくとともに、その生産に携わる人々を顕彰していくような仕組みを考えてもらいたいだろうか。

(答弁)

姫路産であることを分かりやすく伝えるために姫そだちというブランドマークの表示や、話題となりやすい旬の時期を捉えた広報活動に取り組んでいる。

また、姫路産の農水産物と併せて生産者についても認知してもらえるよう、顕彰など生産者の励みとなるような仕組みについて検討していきたい。

(質問)

姫路産であることがイメージできるような効果的なネーミングをつけることや生産数は少なくとも高品質で付加価値の高い商品を開発していくことも大切と考えるがどうか。

(答弁)

姫路産と認識されていない物は数多くあるので、ネーミングをはじめ、今後開設する道の駅において、しっかりとPRしていきたい。

(質問)

道の駅の駐車台数の算定において、通常用いる設計要領の係数では駐車台数が不足するおそれがあるため、国土交通省が実施した駐車場利用者の実態調査の係数を採用したとのことであるが、詳しく説明してもらいたい。

(答弁)

高速道路のサービスエリア建設時は、立寄率・ラッシュ率・回転率という3つの係数で駐車台数を算定するが、一般道に建設する道の駅の場合、立寄率、回転率が高速道路より高くなることが予想されるため、国

土交通省で実施された実態調査の係数を採用して、より多くの駐車台数を確保しようとするものである。

(質問)

本市の場合、既存の道の駅より遅れて整備するものであり、独自性のあるものでなければ、集客は難しいと思うがどうか。

(答弁)

道の駅は当初、運転者の休憩施設として整備されてきたが、近年は地方活性化の拠点として、工夫を凝らしたものが出てきている。

私たちが収益を上げている道の駅を見てきているので、それらを参考に民間事業者のノウハウを生かして、姫路市の産物を全国にPRできるようなものになりたいと考えている。

(質問)

バイクの駐輪スペースは考えているのか。

(答弁)

駐車台数の算定では、自動車だけを対象としているので、別にスペースを確保したいと考えている。

(要望)

バイクツーリングの集合場所として利用されることも多いと思うので、一定のスペースは確保しておいたほうがよいと考える。検討してもらいたい。

(質問)

本会議でも様々な質問が出ている中央卸売市場跡地での新たな市立高等学校の建設については、中途半端なものをつくってもらいたくないが、そのあたりの思いについて聞かせてもらいたい。

(答弁)

手柄の中央卸売市場は建築から65年が経過しており、当初は10人程度であった地権者も相続等で代替わりし45人となっており、お互いの顔も知らない状態であった。

そのような中でどう判断すればよいか分からないという声もあったため、令和4年12月から翌年1月にかけて、全ての地権者を対象とした全体説明会を開催している。

その中では「土地の売却に応じる。」「借地の継続を希望する。」「金額の提示がなければ売却の判断が

できない。」など様々な地権者の意向があった。

買収手続はなかなかスムーズに進まないと思うが、新たな市立高校がすばらしい学校になることを期待しており、中央卸売市場としては、教育委員会に引き継ぐまで責任を持ってしっかりと取り組んでいきたいと考えている。

(質問)

農産物のブランド化推進事業について、ユーチューブ動画はどの程度閲覧されているのか。

(答弁)

太市のタケノコ 1,127 回、網干メロン 1,306 回、イチジク 739 回、レンコン 334 回、カキ 337 回、イチゴ 372 回である。閲覧数が多いところは、令和 4 年 5 月から公開している。

(質問)

ユーチューブで公開しているのならば、広告という形でもっと広く周知しようという考えはないのか。

(答弁)

姫路市の公式ユーチューブで公開しており、現在は広告を表示していない。

「食べなくなった。」「どこで買えるのか。」というコメントもあるので、直売イベント等を通じて、購入機会を増やしたいと考えている。

(質問)

11 月のイルミネーション期間における芝生広場のステージ利用について、イルミネーションにそぐわないものが催される可能性はないのか。

(答弁)

芝生広場にもイルミネーションを設置する予定であり、ステージの観覧が難しい状況ではあるが、イベントを実施するのならば、一体的なものが望ましいので、調整させてもらいたいと考えている。

(質問)

近隣の商業施設が大きな音と映像で広告を流しており、イルミネーションとそぐわない気がするがどのように考えているのか。

(答弁)

イルミネーションの実施に当たっては、ハードだけでなくソフト整備に関しても、姫路観光コンベンショ

ンビューローを中心に周辺の商業施設を巻き込みながら検討しているので、その中で音量等についても調整していきたい。

(質問)

収益を上げている道の駅を見てきたとの答弁があったが、どの道の駅が参考となったのか。

(答弁)

1 年前に開設され、かなり評判がよかった道の駅として、鳴門市の「くるくる鳴門」がある。

昨年末に訪れた際にも、多くの観光客でにぎわっていた。

「くるくる鳴門」では、地元産の農水産物を使用した様々なメニューを開発しており、どの商品がヒットするかは、運営者でも手探りの状態とのことであるが、何回も繰り返すうちに、ヒット商品が生まれてくるとのことである。

(要望)

「くるくる鳴門」というネーミングも優れている。ぜひ、行きたくなるようなネーミングにも配慮してもらいたい。

(質問)

姫路市中小企業等省エネ設備導入支援事業について、5 月末現在の申請件数は 98 件とのことであるが、どのぐらいの申請件数を想定しているのか。

(答弁)

法人 800 社、個人事業主 800 人の計 1,600 件を想定している。

(質問)

募集要項では、申請から交付決定までに約 2 か月を要するようだが、補助対象であるエアコンなどは旬の時期を過ぎてしまうのではないか。

(答弁)

令和 3 年度の姫路市産業デジタル化支援補助金の経験から約 2 か月としているが、今回は当時ほど申込みが殺到していない。

6 月 13 日現在では 105 件、1 日当たりでは 10 数件の申請件数である。

書類不備や省エネ設備の確認等に時間を要しているが、おおむね 1 か月程度で審査は完了しているので、

交付決定までの期間はもう少し短縮できると考えている。

(質問)

まだ余裕がある状況なのか。

(答弁)

そのとおりである。

(質問)

受付期間の終了や予算額に達した後に交付決定を行うのではなく、申請が届いた順に交付決定を行っているのか。

(答弁)

そのとおりである。

なお、予算額を超過する申請があった場合、超過金額に達した当日消印のある申請の中で抽選を行う予定である。

(要望)

交付決定の遅れにより補助が利用できないという事態が生じないように、迅速に対応してもらいたい。

(質問)

令和4年11月の平日と休日に、道の駅の事業対象地周辺で交通量調査を行っているが、平日の交通量が約1万900台となっている。

播但道の東西で状況が異なるのかもしれないが、もう少し交通量が多いイメージを持っているがどうか。

(答弁)

本日の説明資料にもある、平成27年度の全国道路交通センサスによる交通量は1日当たり18万912台である。

しかしながらこの数値は、道の駅整備予定地の前面道路ではなく、交通量の多い上原田の交差点よりも西側で調査したことや姫路城のグランドオープンの年と重なり多くなっている。

令和4年11月に改めて、道の駅整備予定地の前面道路で交通量調査を実施したところ、委員指摘の数値となっている。

(質問)

道の駅の大型バスの駐車台数は1台と算定されているが、団体客が姫路城に行った後に立ち寄ることも想定すると将来性がないように感じる。

大型貨物の駐車台数は19台と算定しているのですが、そのスペースを利用することはできないのか。

(答弁)

大型バスの旅行者が姫路城周辺で昼食を食べる施設がないという意見も聞いており、十分な需要があると感じている。

施設配置計画は、交通量調査に基づいたものであるため、大型バスについては一定の台数を確保しようと考えている。

産業局終了

15時24分

【予算決算委員会経済観光分科会（産業局）の審査】

農業委員会事務局

15時32分

質問

15時32分

(質問)

農業委員会委員は、農業に関する識見を有する等の基準があると思う。

農業専門家が減少する中で、担い手をしっかりと確保していく必要があると感じているが、当該委員はどのように選出しているのか説明してもらいたい。

(答弁)

農業委員会委員は、各農区からの候補者推薦や応募者から選出している。

このたびは19人を選出する必要があったが、推薦が19人、応募が1人の20人となったため、学識経験者や農業委員経験者等の5人で組織する選考委員会を開催している。

選考では、農業者以外の者で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を1人以上選考することや女性や青年の積極的な登用などに配慮している。

また、農業委員会委員は、過半数を認定農業者が占めることが原則であるが、本市ではそれを満たすことが困難なため、委員の4分の1を認定農業者及び準ずる者として選出する例外規定を準用し、認定農業者等は19人中7人を選出している。

(質問)

宅地開発等で水田が減り、その貯水機能が減少することを危惧している。

農業委員会事務局の農地転換の考え方について、説明してもらいたい。

(答弁)

農地を転用する場合には、原則として県知事の許可が必要となるが、市街化区域内にある農地を転用する場合は、農業委員会に届出を行うことで県知事の許可は不要である。

その場合においても、転用後にトラブルが発生しないよう農区総代や水利組合から転用についての同意の印を求めている。

なお、本年4月に農地法の一部改正が行われ、農地の権利取得時に求められていた下限面積要件が撤廃され、所有権移転がしやすくなっている。

(質問)

耕作放棄地の活用は、なかなか難しいと聞いているが、農業委員会事務局としてどのように考えているのか。

(答弁)

必要な農地は守っていく必要があり、転用を促進しているわけではないが、耕作放棄地は有効活用していく方向で動いていきたいと考えている。

現在のところ、雑草が生い茂り、近隣に迷惑をかけるおそれのある耕作放棄地は、転用する人が多い状況である。

(質問)

相続財産として農地を相続した場合における、手続について説明してもらいたい。

(答弁)

通常の名義変更は、農地法の関係で自由にできないが、相続の場合は、農地法の許可は不要である。

なお、相続放棄をしても、相続財産管理人が選定されるまでは、農地の保全等の管理義務は残ることになる。

(要望)

農地法は、農業を守ることを目的として作られた法律であるが、現在はそれが農家の足かせとなっている部分があるのではないかと。

熱意のある人がもっとスムーズに農業に携われるよう取り組んでいく必要がある。

例えば、農地に関する相談があった時に、個々の事例に適合した分かりやすいガイドラインのようなものを作成するなど、農業の担い手の確保に向けてしっかりと支援してもらいたい。

農業委員会事務局終了

15時51分

意見取りまとめ

15時51分

(1) 付託議案審査について

・議案第62号及び議案第67号、以上2件については、いずれも全会一致で可決または同意すべきものと決定。

(2) 閉会中継続調査について

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

(3) 委員長報告について

・正副委員長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

15時54分

閉会

15時54分

【予算決算委員会経済観光分科会の意見取りまとめ】